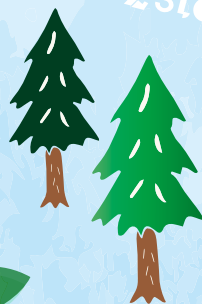


こうちらいふ二段階移住ハンドブック

すてっぷ イ^移ズム^住



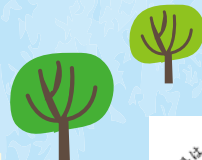
2step



KOCHI CITY



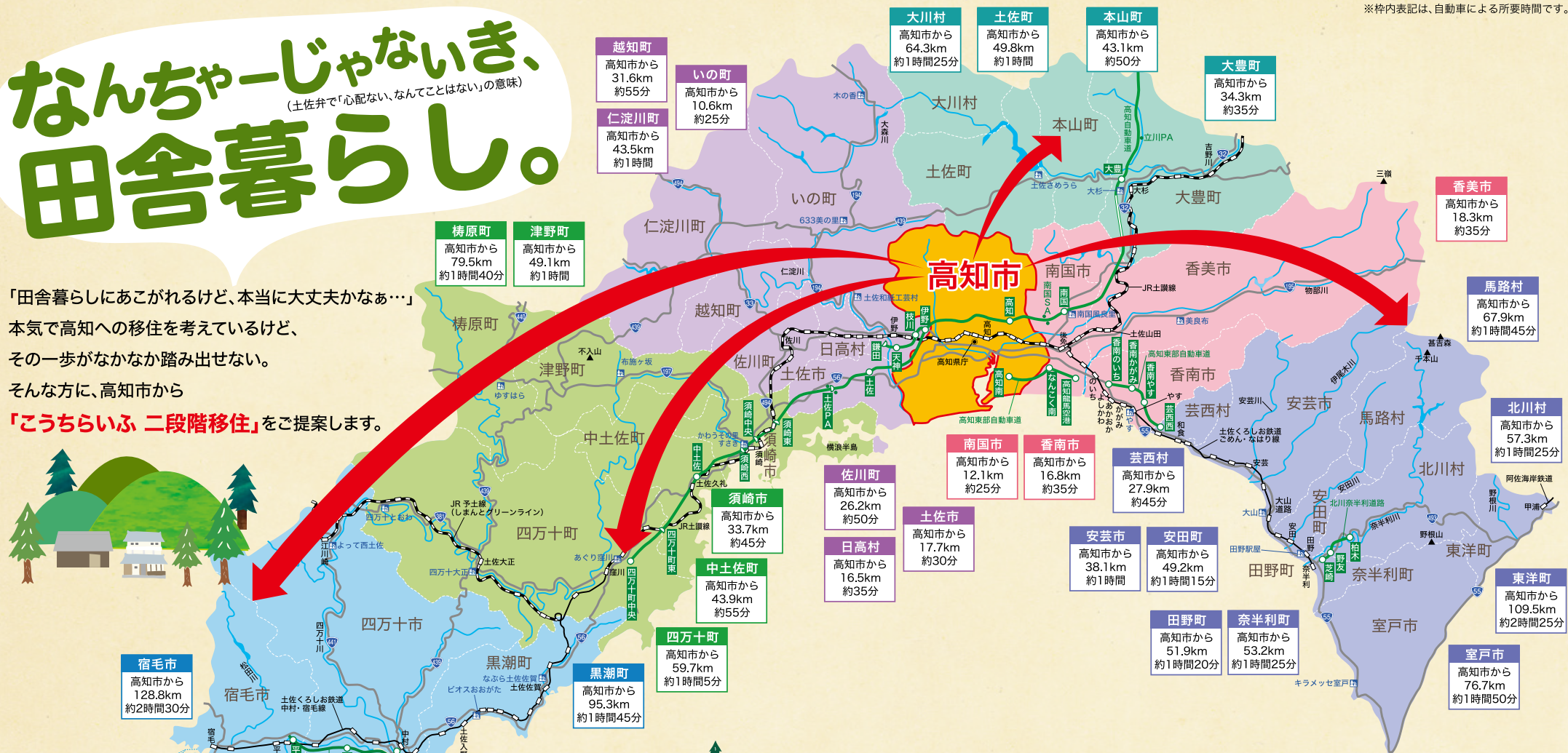
2step



なんちゃーじゃないき、 田舎暮らし。

(土佐弁で「心配ない、なんてことはない」の意味)

「田舎暮らしにあこがれるけど、本当に大丈夫かなあ…」
本気で高知への移住を考えているけど、
その一歩がなかなか踏み出せない。
そんな方に、高知市から
「こうちらいふ 二段階移住」をご提案します。



高知家で暮らす。
高知県の移住ポータルサイトはこちら▶



**ずっと住み続けたい！
そう思える場所を
見つけたして住む。**

2ステップ目の移住

地域のコミュニティや
周りの環境、文化、
住まいの情報などを得る。

1ステップ目の移住

無理せず、いったん、今お住まいの環境に近い街中(高知市)で滞在する。

高知県内に移住するにあたって、まずは比較的に都市部である高知市に移住・滞在(1ステップ目)していただき、そこを拠点に高知県内をめぐるながら自分にあった場所を見つけて、最終的に安心して移住(2ステップ目)していただくための一つの方法です。

高知市がおすすめる

二段階移住とは？

移住までのステップ

2 地域の情報を集めよう

「なぜ移住するのか」「どんな暮らしがしたいか」をイメージして優先順位をつけてみましょう。そうすることで、求める情報が絞られてきます。

高知市へ移住または滞在 (二段階移住1ステップ目)

高知市こうちらいふ
体験滞在拠点「いっく」
 高知市一宮南町
 間取り
 2LDK (生活家電・家具あり)
 利用期間
 1ヵ月以上6ヵ月以下 (1ヵ月単位での利用)
 利用料金
 月額35,000円程度
 (別途共益費・光熱水費が必要)
 ※詳しくは、高知市公式ホームページをご覧ください。



暮らしにほっこり「こうちらいふ」を体験しよう!

高知市では、体験滞在拠点としての施設をご用意しています。高知県への移住を検討されている方はぜひ、ご利用ください!

1 移住に興味がある

「移住するってどんな感じ?」と思ったら、既に移住している人の暮らしを参考に見てみましょう。そして、ご家族に相談してみてください。

3 現地で確認

移住の候補地が見つかったら、現地に行って確認しましょう。移住後に「想像と違っていた」とならないためにも、可能な限り現地を訪れることをおすすめします。

4 仕事と住居を探そう

仕事に就いていないと、住居を借りられない場合もあるので、まずは仕事を探すことが先決です。移住後にじっくり仕事を見つけようと考えている場合は、十分な生活費(半年〜1年分)を用意しておく必要があります。

5 高知家で暮らす

引っ越しが済んだら、まずは近所の方やお世話になった方に挨拶をしましょう。積極的に地域の行事に参加することで、頼りになる仲間ができるはずです。



休日はいっくを満喫!

豊かな自然が広がる高知県は、ほぼ田舎。でも、高知市内には都会と同じ便利さもあります。海・山・川・街、それぞれの楽しみ方を、それぞれのスタイルで発見してください。可能性は無限大です。

新鮮な旬の魚介の美味しさ、広大な青い海の波音もすぐそばで感じられる海の暮らし。普段はマリンスポーツのインストラクターをしながら、休日はサーフィン、海釣り、子どもたちと砂浜遊び、海水浴をしてアクティブに過ごすなど、趣味と実益を兼ねた生活を送ることができます。爽やかな潮風、水平線に沈む美しい夕日はいつも、すぐそこにあります。



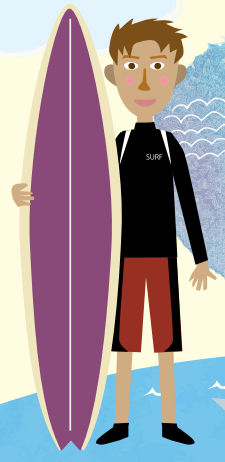
山の暮らし



四季の移り変わりを感じながら、山の恵みを美味しくいただける山の暮らし。農業や林業など、山の仕事で「ト」になって、小鳥のさえずりや川のせせらぎの音がいつでも心身をリフレッシュしてくれます。街まで通勤される方も、静かな環境でくつろげる毎日。ハイキング、川釣り、緑に癒される森の休日が当たり前になります。



海の暮らし





interview 二段階移住者紹介

司法書士

金子 仁さん(38才)



4人家族

妻
子ども2人
兄9才(1才頃に高知市へ)
弟2才(四万十町で誕生)

STEP1

2009年 高知市へ移住

STEP2

2010年 四万十町へ移住

高知市移住までの準備期間▶約3~4カ月

高知県への移住は、「高校の修学旅行での四万十川カヌー下りが忘れられない。」という奥様のひとことが後押しに。



interview 二段階移住者紹介

鍼灸マッサージ師

澤本 洋介さん(40才)



4人家族

妻
子ども2人
姉10才(高知市で誕生、6ヵ月頃に本山町へ)
弟6才(本山町で誕生)

STEP1

2005年 高知市へ移住

STEP2

2007年 本山町へ移住

高知市移住までの準備期間▶約1年

本山町に移住した2007年は、移住支援団体「れいほく田舎暮らしネットワーク」が活動をスタートした年。「移住するには最高のタイミングでした。」

「きっかけは、司法書士試験に合格したことでした。」
金子仁さんは、30才の時に高知県への移住を決意。その頃、東京は司法書士が飽和状態にあったこともあり、収入面を考えると、司法過疎地での法的ニーズに応える方が職業として成立しやすかった。さらに、一日の何時間も満員電車での通勤に費やされる毎日にとんざりしていた金子さんは田舎で暮らすことを決心した。
まずは高知市内に住みながら情報収集をし、その1年後、四万十町へ移住した。
「高知県についての情報が何もない状態でいきなり田舎に住むという選択肢はありませんでした。」移住への1ステップとして、今までのとそれほど変わらず便利に暮らせる高知市内を選び、徐々に生活の基盤を整えていったという。それが大正解だった。
今では、頼れる司法書士として、四万十町にとって無くてはならない存在となった金子さん。休日はマラソン大会への参加や、家族とのドライブで過ごすという。自然を見ていただけで気分が良い。この景色は、得難い財産です。「田舎暮らしを心から楽しんでる。」

移住してからの生活

仕事から帰る時間が早くなり、家で家族と過ごす時間が増えました。唯一の悩みは、教育に関することです。地元の学校と高知市内の学校、どちらに通わせるべきなのか？子どもにあった教育を受けさせてあげたいので、しっかり検討が必要だと感じています。

二段階移住のメリット

「静かな田舎で干渉されずに生活する」というイメージで移住する方には、田舎の近所づきあいは少し大変かもしれません。高知市内に住んだ期間は、僕らがコミュニティに溶け込めるかを検討する時間であると同時に、何度も地域を訪れることで、住民の方々と顔見知りになり、事前に関係性を育む時間にもなりました。

移住についてのアドバイス

移住は、そんなにハードルが高いものじゃない。せっかく来たんだったら不安で閉じこもるんじゃなくて、楽観的に楽しんで！そうしたら、高知の人が助けてくれます。



奥四万十トレイルレース
2017 in 松葉川にて。



移住してからの生活

お客様の送り迎えも、大自然を見ながら車を走らせるので、まったくストレスに感じません。

二段階移住のメリット

県全域から人が集まる高知市内に住んでいる間に、様々な方から情報を得たり、人を紹介してもらえたりしたので、田舎への移住の不安はなくなりました。

移住についてのアドバイス

子どもにとって転校はストレス。その辺は、家族でよくお話をしておいた方がいいですね。



休日は家族で美しい汗見川を満喫。

本山町への移住後は、地域のニーズにあわせ、介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格を取得。「充実した毎日を通じて、住民に慕われ、愛されている。」



1step

2step

2step

こうちらいふ二段階移住ハンドブック

すてっぷイズム

高知市政策企画課 移住・定住促進室

〒780-8571 高知県高知市本町5丁目1-45

Tel 088-823-8813 Fax 088-823-9382

E-mail: kochi-life@city.kochi.lg.jp

こうちらいふ

検索

